

令和5年3月23日

令和5年3月 記者懇談会 冒頭挨拶

- 本部長の榎本です。本日もお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

- 前回の記者懇談会以降の主な出来事としまして、3月6日、海上自衛隊舞鶴地方隊、KDDI 株式会社関西支社、第八管区海上保安本部の三者による、災害時の相互協力協定を締結致しました。本協定により、災害発生時に重要視される通信確保のための相互の迅速な連携を図られることになり、これまで以上に地域の安全安心に貢献することができるものと考えております。

- また、3月19日には、新たに建造され、舞鶴海上保安部に配属された巡視船「わかさ」の就役披露式が行われ、舞鶴市長はじめ多くの地元関係者の皆さまから祝福していただきました。就役披露式の後には、最新鋭の巡視船「わかさ」

を実際にご覧いただき、新「わかさ」の配備により地域の安全がより一層強固なものになることをご理解いただけたものと考えておりますが、新しい巡視船を十二分に活用し、より一層国民の期待に応えられるよう、今後とも取り組んでまいります。

○ これら二つの行事に際しましては、多くの皆さまに取材していただき、また大きく報道していただきありがとうございました。

○ 管内の海難事故の状況ですが、冬の間は、寒さや海上荒天の日が多く、マリンレジャー活動は停滞し、海難も減少傾向にありましたが、3月15日に敦賀海上保安部管内で、遊漁船同士が衝突し、乗客一名が死亡する痛ましい事故が発生しています。

○ 三月に入り気温もあがり、穏やかな日が続いていますが、これからの時期は、ゴールデンウィークを中心にプレジャーボートや釣り中の事故が増加する傾向にあります。本日

は、このあと発表項目として、「春の海の事故ゼロを目指して」と題し、この時期の事故の特徴と注意点について説明させていただきます。

○ また、業務説明と致しまして、「海の潮汐」について、今回は京都の観光名所である「伊根の舟屋」の成り立ちも絡めまして、潮の満ち引きのメカニズム、どうして日本海側の干満差が太平洋や瀬戸内海に比べて小さいのか、といった点について説明させていただきます。

○ 本年度も残すところあとわずかとなりました。本年度一年間、皆さまにおかれましては、数多くの、また当管区にとりましても大変有意義な報道をしていただきありがとうございました。この時期は、海上保安庁では大規模な人事異動が行われます。本日は業務都合により欠席していますが、本部におきましても3月15日付けで総務部長が交代しています。今後、4月1日、4月15日と順次人が入れ替わり、本部におきましても人員体制が変更となりますが、来年度も引き続きよろしく申し上げます。

○ 私からは以上です。